


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年11月11日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	7番	瀬戸 伸二	
件名	人口減少問題に第三者の力を				
要 旨					
<p>全国的に人口減少が進む中、当町においても人口が1万人を割ってしまった。これは、当初の予定よりも早まっている。今、何らかの手を打つ必要があると考える。</p> <p>東山北1000計画はあるが、果たして計画は順調に進んでいくのであろうか、町内外にもっとアピールする必要があると考える。</p> <p>東名工事の事務所跡地を利用して、当町の企業だけでなく近隣の市町の企業に「山北ベッタウン」計画を打ち出し、山北に居住していただける人を募ったらどうだろうか。</p> <p>また、9月定例会でも質問したが、耕作放棄地や遊休農地、森林の活用について町がビジョンを示すことにより、将来の土地利用を模索する地権者も耳を傾けるのではなかろうか。高齢化が進む当町において、第三者の力による土地利用、人口問題の方向性が必要と考え質問します。</p>					
<ol style="list-style-type: none">1 町外の企業に、住宅情報をアプローチしていくべきでは。2 森林、耕作放棄地や遊休農地の活用として「地域おこし協力隊」等の要請はしないのか。3 山北高校では現在、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」を行っている。山北高校の生徒は、山北町内からの通学者は5%で、95%の生徒は他市町から通学している。当町と関連を持った町外の95%の生徒が当町へ波及し活躍してもらおう事が必要と考えるがいかかか。					